

# 桃井第二小学校改築に伴う建築計画の説明会

「杉並区中高層建築物の建設に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づく説明会議事録（要旨）

## ○開催日時・会場

平成 28 年 10 月 21 日（金） 19 時～21 時  
桃井第二小学校体育館

## ○出席者

近隣住民等 29 名  
学校整備担当部長  
学校整備課長  
施設整備担当課長  
児童青少年課長  
子どもの居場所づくり担当課長  
施設再編・整備担当課長  
桃井第二小学校校長  
株式会社綜企画設計

## ○議事

1. 区職員・設計者紹介・設計担当者紹介、挨拶
2. 概要説明（別紙資料参照）
3. 質疑応答（要約）

【凡例】 Q…質問、要望など A…回答及び説明

Q：桃井第二小学校の前のプールは、河川敷にあったため沈下して構造が半分に分れたと言われています。昨年の改築検討懇談会でも、地域の方から地盤が心配と意見がありました。専門的に説明をしてください。

A：古いプールは松の杭を使用しており、固い支持層まで杭が届いていなかったようです。また、コンクリートの強度や施工精度の影響で割れてしまったと聞いています。この辺りは、川の氾濫や関東ローム層が水中で堆積したものにより、地盤の上から5メートル程度までやわらかい地層になっています。今回の改築計画では、5メートル以上の深さにある、非常に固い礫層という砂利の層に杭を打ち込んで支持させます。地盤については、全く問題ないとお考えいただきたい。

Q : 学校西側の整備工事の騒音が酷かったのですが、今後、校舎を解体する際の騒音対策について伺いたい。騒音と振動には規制があると思うが、表示計は設置してもらえますか。

A : 敷地周辺に高さ3メートルの鋼板の仮囲いと、足場を使って防音シート等を張ります。騒音、振動を極力抑えるように業者を指導していきます。騒音計と振動計は、道路から見えるところに設置します。

Q : 善福寺川沿いに建てるとう蚊の問題や臭いが気になります。どのような対策をするのですか。

A : バルコニー側も網戸を設置する予定です。また、河川管理は土木管理課が所管ですので、ご意見をお預かりいたします。

Q : 子どもの利用数を把握した上で、校門を1カ所にしたのですか。子どもの通学距離が長くなる方がいいことなのでしょうか。

A : 動線を1つにすることで、全ての子どもたちの様子を1カ所で見守りながら登校を迎えたいという、学校からの要望に基づき計画しました。

Q : 複雑な形の建物で昇降口が1カ所というのは、子どもたちが避難する十分な計画がなされた設計なのですか。

A : 昇降口の前にメインの階段が1カ所、避難や使い勝手等を考え、左右の2カ所に階段を設置して安全に避難できます。

Q : 川沿いにバルコニーを設置する理由を教えてください。

A : 南向きの教室に対し、バルコニーを設置することで夏場の教室内の温度上昇等を抑え、まぶしさを軽減できると考えています。

Q : 科学館が無くなり、鯉の解剖を学校で行うようになりました。2クラス同時に解剖をする場合、理科室が1カ所の学校は家庭科室で解剖をしているようです。新校舎の理科室は1カ所なのでしょうか。

A : 理科室は1カ所の計画ですが、授業を行う上で支障はない考えです。

Q : この辺りは地盤が脆弱です。次々にマンションが建ち、建築が重なると周囲の建物に影響があるのではないかと懸念しています。先ほどの地盤図面を周辺住民に資料として配布して欲しいです。学校の敷地内だけでなく周辺の地盤についても調査して、影響を考慮しているのですか。

A : 学校敷地に杭をたくさん打っても、周りの地盤が沈下することはありません。周辺地域のボーリング調査はできませんが、周辺ビル建設時のデータは調査しています。資料、ボーリングデータについては、情報公開請求等をして頂ければ対応いたします。

Q：多数の学校で屋上プールを設置しているそうですが、とても不便との意見があります。そのような課題について検討されているのですか。

また、環状八号線からの騒音や大気汚染、紫外線の心配がありますが、この設計を選んだ根拠と検討された内容を教えてください。

A：杉並区内では小中学校の半分程度が屋上プールですが、学校から課題や問題などの意見はありません。建築基準の耐震基準に対して、1.25倍と基準を強めていますので、耐震上の問題もありません。また、環状八号線から近く見えますが、実際はある程度距離がありますので、大気汚染や騒音についての被害は考えておりません。

Q：防災避難所の機能として、太陽光発電や屋上プールを防災上の水として利用できるのですか。また、マンホールトイレは何台設置できますか。

A：太陽光発電は設置します。非常時には、最低限の電源として携帯電話の充電程度は可能です。屋上プールは落ち葉や動物が入りにくいため、地上のプールより水質が良く、消防水利や校舎トイレの排水利用など、防災対策として機能していく計画になっています。マンホールトイレについては、5基設置予定です。

Q：防災備蓄は1週間分必要だと思いますが、防災倉庫の容積はどのくらい増えますか。

A：防災倉庫1は大物の備品などを格納し、防災倉庫2と合わせて備蓄の量が増えても十分収納できるように計画しています。適正な備蓄量については、今後、防災課において検討させていただきます。

Q：ごみ置き場について、ごみ収集車はどこから出入りするのですか。また、道路との間は何ができるのですか。

A：ごみの収集車は環状八号線沿いのサービス・開放用門から直接出入しますので、西側の道路は使用しません。ごみ置き場の裏側と道路の間は植栽帯と歩道状空地になります。

Q：道路と歩道状空地は同じ高さですか。

A：同じ高さに整備します。

Q(意見のみ)：浦安の液状化現象を見ると、善福寺川の近隣であることを考えて、河川の自然の強さを踏まえ杭打ちの比較研究をしてから見直して欲しいです。

Q：あんさんぶる荻窪はたくさんの集会室があり、地域のコミュニティ活動に役立っています。新校舎の設計図では、近隣住民が利用できる施設は開放会議室だけしかなく、不十分だと思います。多目的室を地域に開放できないのですか。

A：開放会議室は、通常の教室よりも広くとっており、利用勝手を良くしています。1階の多目的室は放課後の子どもたちの活動の拠点として、2階の多目的室は児童の学習

等教育上の利用を想定しています。多目的室の地域開放については、学校の運営上の課題もあり、現時点では考えておりません。

Q：区民に開放する利用時間は、これまでの施設利用時間に準ずる扱いになるのですか。

A：一般的な学校開放の事業になりますので、夜9時までとなります。

Q：夜間利用する場合の警備体制はどうなりますか。

A：学校は夜10時に機械警備体制に入ります。

Q：現在、集中豪雨で校庭に水が溜り近隣に流れ出していますが、雨水貯留槽をどのように造るのですか。

A：雨水貯留槽については、校庭の下に1箇所と建物の地下ピットに整備し、雨水を貯留します。現在は190 m<sup>3</sup>ですが、今回の計画では両方合わせて650 m<sup>3</sup>の雨水を溜められます。

Q：歩道状空気をカーブにすれば校庭への影響はないはずだから、白旗桜はぜひ残していただきたい。

A：樹木医等に診てもらい検討を行いました。老木であることや歩道状空地整備の問題で、移植や残置も非常に難しいと判断しています。今回は既存樹を用いてバイオや接木によって若木を育て、新たな白旗桜を育てていきたいと考えています。とても大切な木というのは区も承知していますので、白旗桜が継続して生きるように準備しています。

【他住民からも要望有】

ご要望が強いようですので、再度検討します。

Q(要望・意見のみ)：児童の安全確保と近隣への悪影響を最低限にすることを優先してください。また、工事予定表を近隣に配布してください。

これまで大きい会議はあんさんぶる荻窪で行っており、勤めている人もいるので夜8時から会議を始めることもあります。開放会議室はあんさんぶる荻窪と同じく、夜10時まで使わせていただきたい。

その他、校門は1つにまとめない欲しいです。

Q：集会スペースはとても重要ですが、児童の保護者としては防犯面が心配です。防犯についての運営方針や対策について伺いたい。

A：学校には校門警備員がおり、児童がいる間は常に校門周りを警備しています。開放会議室には、環状八号線側のサービス・開放利用門から入校し、校舎に立ち入ることなく専用玄関にて直接出入りします。また、利用者が敷地内を自由に通行しないように、屋外を区画する柵的なものを設ける計画です。

※以下、仮設校舎建設にかかる質疑になりますが、発言者の要望に基づき議事録に記載しています。

Q：9月の仮設校舎建設説明会の説明時と、工事車両の搬入搬出路が変更になったのはなぜですか。

A：警察との協議により、ルートの一部変更を行いました。近隣の皆様には、施工者から変更通知のポスティングを行ったと報告を受けています。9月の説明会の時点では警察との協議中であり、現計画ということでお話いたしました。説明会の時点で十分な協議が整っていなかったことについては、誠に申しわけございません。今後は警察署の交通課、地域課と十分な協議を図り、工事計画を事前にご説明させていただきたいと思えます。

Q：中途半端な説明をした責任は誰にあるのですか。

A：杉並区が工事委託をした以上、工事の安全対策を万全にするというのは、請け負っている業者が責任を負わなければいけません。区役所も監督責任がございますので、今後は業者を指導していきたいと思えます。

Q：東側を通行する工事車両の運行について、詳細な説明を配布してください。

A：施工業者に詳しく説明させるようにいたします。